

教科目名 技術論 (General Principles of Technique)

学科名・学年 : 機械工学科 4年

単位数など : 選択 1単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 福永 圭悟

授業の概要			
技術が進歩するには、多くの失敗・試行錯誤が必要である。学校で学んだことを、どのように実務に応用するかを学ぶ。さらに、世界に通用する一流の技術者とはどのように、日々の課題に取り組んでいるのかを学ぶ。これらを知ることにより、大きな夢を持った学生を育てる1つの足がかりにする。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A2), JABEE 目標(b)	
(1) 実務について、自己の技術力を向上させる方法や手段を理解できるようになる。(レポートと試験)			
(2) 責任を持ち、社会に有意な製品を開発する方法や手段を理解できるようになる。(レポートと試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1.序論 企業と学校の違い	具体論と一般論の違いを学ぶ	【理解の度合い】
2	2.失敗の捉え方。成功体験の重要性	成功の裏には無数の失敗があることを学ぶ。	
3		相手が納得する文章作成方法を学ぶ	
4			
5	3.技術書類の書き方	英語をどのように使えば、外国人と意思の疎通が出来るかを理解する	
6	4.技術の国際化とは何か	新製品はメーカーではなく、ユーザがつくることを学ぶ	
7			
8	5.新製品は誰がつくるのか。	現物が真実を教えてくれることを理解する。	
9	6.現場主義	業績の悪い会社は秘密が多い 秘密を解読できる技術者とはを学ぶ。	
10			
11	7.企業秘密	技術者の最高資格取得への道を学ぶ	
12	8.技術士二次試験		
13			
14			
	9.技術論講義から何を学んだのかディスカッション。		
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験解答と解説	自身の理解力を分析し、間違った部分を理解。	
履修上の注意	講義の途中でわからなくなったらすぐに質問してよいことにする。 歴史、倫理、各専門科目、新聞、雑誌などの技術評論や事故記事などに注意深く目を通す。		【総合達成度】
教科書	適宜プリントなど配布		
参考図書	中村清治「現代技術論」、中村清治「技術論入門」		
関連科目	倫理、工学倫理		
総合評価	達成目標(1)~(2)について、定期試験(50%)およびレポート等(50%)を総合評価する。 総合評価が60点以上を合格とする。		